FITSA
～SIBIE法を用いた非破壊検査法～

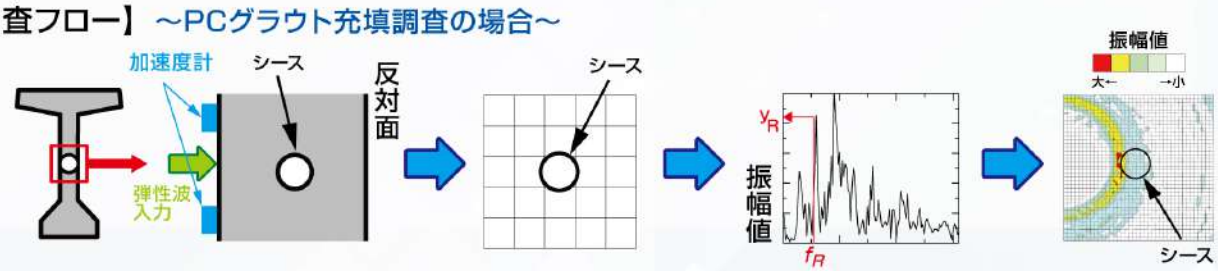
Fuji P.S Investigation Technique by SIBIE and/or AE analysis

NETIS登録技術：KT-160088-VR

FITSA/フィッツァは、弾性波による非破壊検査試験の一つであるSIBIE法を用いて、対象となるコンクリート構造物の内部欠陥（空洞、浮き・剥離、ひび割れ）の有無およびその位置を調査します。

調査結果を画像化できることから、コンクリート構造物中の欠陥の有無およびその位置を視覚的にわかりやすく表現でき、点検者による評価のばらつきを小さくすることが期待できます。

【調査フロー】～PCグラウト充填調査の場合～



【鋼材位置出し】
・図面、探査等

【弾性波入力、検出】
・衝撃入力

【対象断面をモデル化】

【周波数スペクトルの計算】
・FFT解析

【画像化】
・SIBIE解析

【調査状況】

波形記録装置

衝撃入力装置

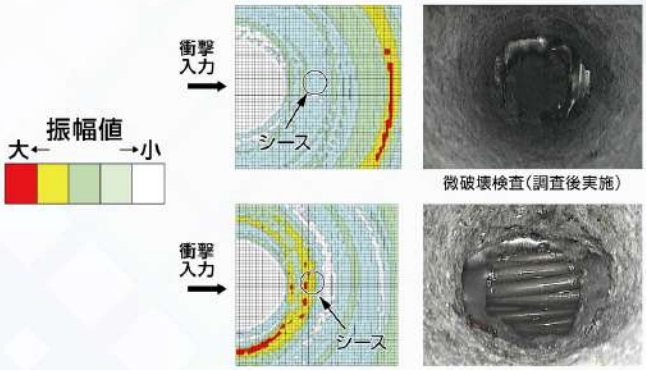
グラウト充填調査

コンクリート床版内部調査

【調査結果】

●グラウト充填調査（実橋）

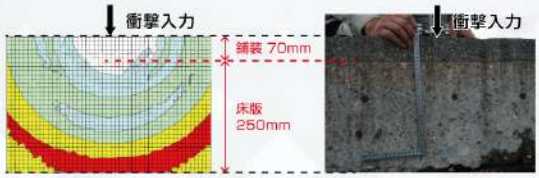
➢ グラウト充填：反対面からの振幅値が大きい



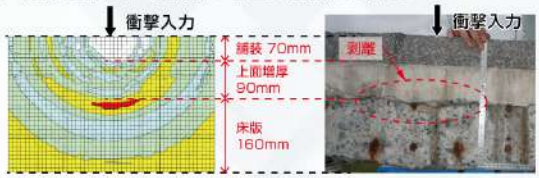
微破壊検査（調査後実施）

●コンクリート床版内部調査（撤去床版）

➢ 内部空洞なし：反対面からの振幅値が大きい



➢ 内部空洞あり：空洞部の位置の振幅値が大きい



人にあたたかい空間づくりをめざして

株式会社富士ピー・エス